

東京都写真美術館展示会スケジュール

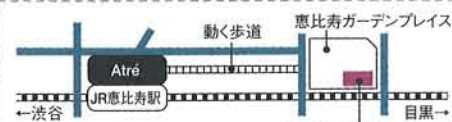
SCHEDULE

|           | 10月  | 11月   | 12月  | 2004年1月                          | 2月                                 |
|-----------|--|---|--|----------------------------------|------------------------------------|
| 3F 展示室    | 上田義彦「Photographs」<br>9月20日(土)～10月26日(日)<br>                       | 写真新世紀<br>10月31日(金)～<br>11月28日(金)<br>                                     | イタリー、ザ・ワン・アンド・<br>オンリー展<br>12月2日(火)～<br>12月21日(日)<br> | 上野彦馬賞展<br>1月6日(火)～<br>1月12日(月・祝) | 中島健蔵展(仮称)<br>1月20日(火)～<br>2月22日(日) |
| 2F 展示室    | 江戸開府400年記念事業<br>「土(さむらい)/日本のダンディズム」展<br>10月12日(日)～11月24日(月・祝)<br> | セバスチャン・サルガド「エッセイ」<br>～この大地を<br>受け継ぐもの一展<br>11月29日(土)～<br>1月12日(月・祝)<br> | 60億の肖像<br>田沼武能写真展<br>1月17日(土)～<br>2月22日(日)<br>      |                                  |                                    |
| 1F ホール    | 「戦場のフォトグラファー」<br>9月6日(土)～<br>10月31日(金)   | 「延安の娘」<br>11月11日(火)～<br>12月11日(木)<br>                                    | HAZAN(はざん)<br>1月2日(金)～1月23日(金)※予定  |                                  |                                    |
| B1F 映像展示室 | 江戸開府400年記念事業<br>江戸の写し絵～幻影のメディアテクノロジー<br>9月21日(日)～10月19日(日)   | 東京国際映画祭<br>11月1日(土)～11月8日(土)  | アジア・フィルムフェスティバル<br>12月13日(土)～12月21日(日)   | (次回上映)<br>ウィニング・パス               |                                    |
|           | 不肖・宮嶋報道写真展<br>10月25日(土)～<br>11月24日(月・祝)  | ファミコン生誕20周年<br>テレビゲームの展覧会<br>「レベルX(エックス)」<br>12月4日(木)～2月8日(日)<br>    |  |                                  |                                    |

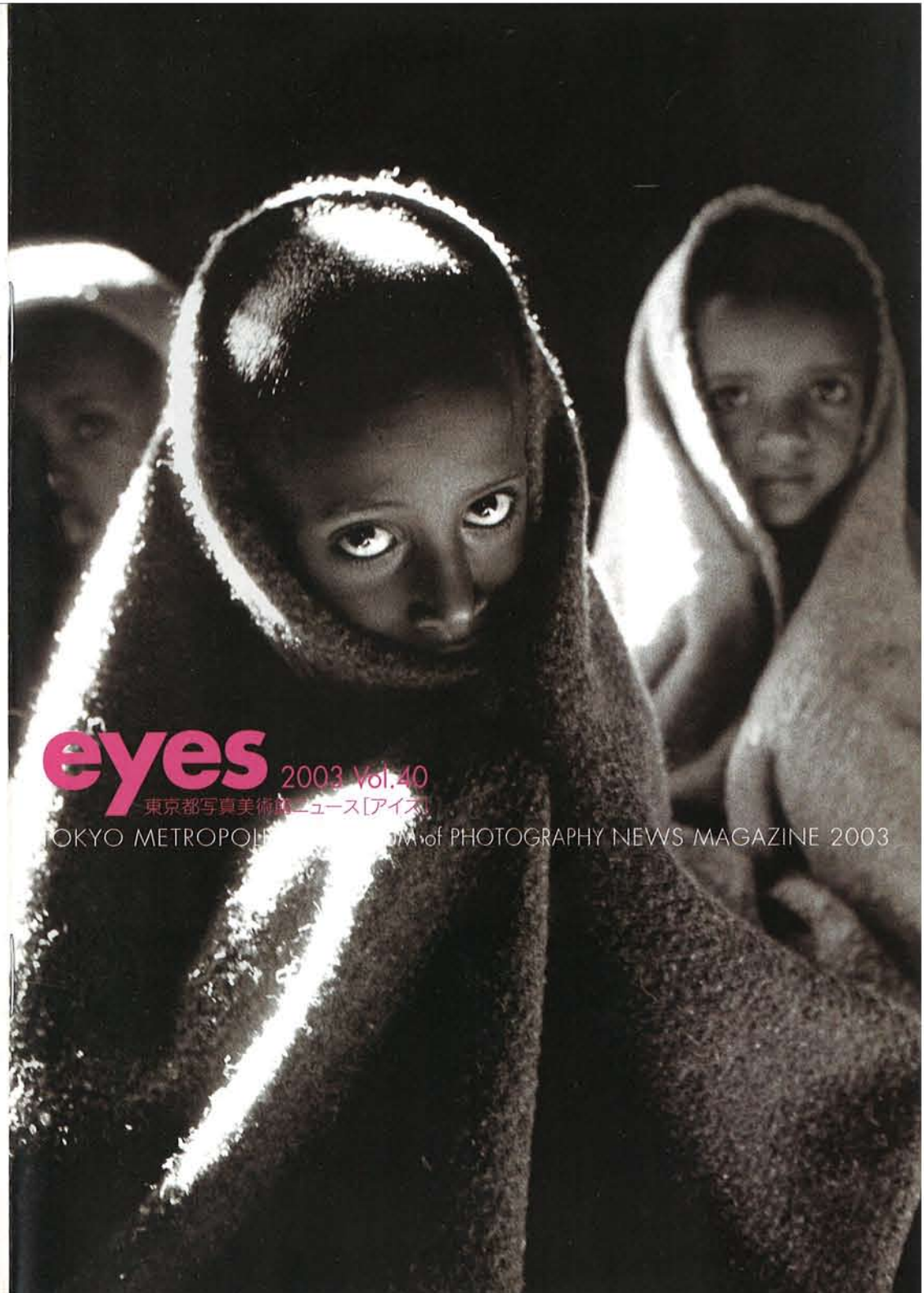
※スケジュールは予告なく変更される場合があります。

ご利用案内

- 休館日：毎週月曜日  
(休館日が祝日または振替休日の場合、その翌日)  
年末年始(12/28～1/1、1/5)
- 開館時間：10:00～18:00(木・金は20:00まで)  
入館は閉館の30分前まで  
※2004年は1月2日より開館します。
- ★年始の特別開館時間：  
2004年1月2日～1月4日11:00～18:00
- ★全館セット割引チケットの販売  
お得な割引料金で展覧会をご覧いただけるチケットを販売しております。  
詳しくはチケット売り場でおたずねください。



<http://www.syabi.com>  
Tel.03-3280-0099 Fax.03-3280-0033  
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3  
恵比寿ガーデンプレイス内  
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分※当館には専用駐車場はありません。恵比寿ガーデンプレイスの駐車場を御利用ください。



# SEBASTIÃO SALGADO セバスチアン・サルガド

1944年にブラジルで生まれ育ち、度重なる政変により、フランス・パリへ移住。  
幅広い年齢層に支持されるフォト・ジャーナリストとして活躍中。  
写真家としての活動に加え、地球環境をテーマに壮大なプロジェクトを展開中の  
サルガド氏に現在の活動などについてインタビューをしました。



● INTERVIEW

人類は地球のクロスセッション(交差点)地点に  
きているといってもいいかもしれません。

この10年間を振り返ってみると、政治的変化や、テクノロジーの変化、貧困や公害の問題など、地球上では本当にたくさんの出来事が深刻化しています。技術的なことをひとつ挙げても、写真がデジタル化するなど大きな変化がありました。逆に、急速に変わりつつある時代に人間がついていけないという面もあるのではないかと感じています。いま、まさに人類は地球のクロスセッション(交差点)地点にきているといってもいいかもしれません。

そんな昨今、フォトジャーナリズムへの関心が衰えな

いのは、これからの時代を担う若い世代の人たちが現在を知り、未来を考えたいと思うからではないでしょうか。

また、写真というのは何かを語るとき、とてもわかりやすい世界共通の“言葉”になります。アフリカで今、何が行われているかとか、アジアや北アメリカ、南アメリカで何が起きているかということが翻訳を必要とせずに伝えられるため、多くの人が興味を持てるのだと思います。しかし、そこでみなさんに意識していただきたいのは、われわれもこの地球上の大きなコミュニティの一部なのということです。

わたしが見た中で最も悲劇的な惨状だったのがアフリカ

人間というのは驕り高ぶって、あたかも特別な存在であるように思っていますが、大きな生態系に生きるもののひとつ。空気や火、水などと同じように、われわれも自然の中の一部としてこの地球に生かされているわけなのです。ですから、私たち人間がどこからきて、どういふものであったかという原点を知ることが大切です。先にあげた問題のほかにも、健康や熱帯雨林の破壊など、地球が抱える問題はまだまだたくさんあります。しかし、多くの人々がそれらの現実から遠くかけ離れてしまっていると思うのです。

例えば、私が見た中で最も悲劇的な惨状だったのがアフリカなのですが、それも、本来ならばアフリカだけでなく、地球上の人類すべての問題。それを忘れてはなりません。そして、地球上で起こる問題に対し、人類がひとつになって話し合い、行動をしなければならぬと思うのです。

これまで私は、フォトジャーナリストとして写真を発

表する活動をしてきましたが、これからは社会と環境をリンクさせたプロジェクトをおこない、多くの問題を人々に知らせていきたいと思っています。

現在、私が故郷ブラジルで行っている植林プロジェクトも地球上の原点を知るために、非常に重要なものです。すでに50万本の木を植林し、それを教育する学校も作っていますが、年々、失われつつあった環境に水を戻し、川が流れ始め、鳥たちが戻ってきてというように、再び希望が持てるようになりました。今回の展覧会で日本初公開となる「ポリオ撲滅キャンペーン」も、世界には未だに予防接種を受けられない多くの子供たちがいるという現実を知ってもらい、人々に結末を呼びかけるための写真です。

日本のみなさんにも、日本人というカテゴリーではなく、大きな地球上の一員だということを意識していただきたいです。そして社会的な責任感を持った結末を是非ともおこなって欲しいと思います。



2F | 展示室  
Exhibition Gallery

2003年11月29日(土)～1月12日(月・祝)

年始  
特別開館  
1月2日より開館

友の会  
割引

三越カード  
割引

アトレカード  
割引



■一般800(640)円 ■学生700(560)円  
■中高生・65歳以上500(400)円  
( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料  
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催：東京都写真美術館／朝日新聞社／  
ロータリー財団ポリオ撲滅キャンペーン日本委員会  
■後援：ブラジル大使館／フランス大使館／国連児童基金 (UNICEF)／  
世界保健機構 (WHO)／国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)／  
日本ユネスコ協会連盟／日本写真協会／日本写真家協会／  
日本写真文化協会 他  
■協力：エールフランス航空 他  
■企画協力：AMAZONAS images - Japan



《インド》2001、＜ポリオ撲滅キャンペーン＞より

© SEBASTIÃO SALGADO / AMAZONAS Images

世界の「現実」を捉え続ける  
ドキュメンタリー写真家、  
セバスチャン・サルガド

現在、世界で最も動向が注目  
されている報道写真家のひとり  
がセバスチャン・サルガドでしょう。  
彼はこれまでも経済学や現地  
データに基づく徹底した取材力、  
そして圧倒的な作品の表現力  
を持って、世界中で起こる「現実」  
を私たちの目の前に突きつけて

きました。昨年、日本で開催された「EXODUS」展では長年に渡って取材を続けている移民問題をまとめた  
シリーズを発表。大きな反響を呼んだばかりです。

「ESSAYS」： 試論——と題されたこの展覧会では、これまでに発表されたシリーズの代表作とともに、  
現在、進行しているプロジェクトを展示し、現時点におけるサルガド氏の活動の全貌を紹介します。また、  
2001年から手がけているユニセフと世界保健機関の《ポリオ撲滅キャンペーン》のために現地取材した  
シリーズは当館で日本初公開となります。ここで観たものを他者の歴史にしてしまうか、自己の現実とするか、  
きつと問われることでしょう。

\*出品作品点数 173点(予定)

—第1部— ラテン・アメリカ等(35点)

—第2部— WORKERS(49点)

—第3部— EXODUS(51点)

—第4部— 国境なき医師団(サヘル)／ポリオ撲滅キャンペーン(38点)

3F | 展示室  
Exhibition Gallery

2003年10月31日(金)～11月28日(金)

「写真新世紀展」  
2003

Photograph New Century Exhibition  
2003

入場無料

■主催：キヤノン株式会社  
■共催：東京都写真美術館

「schedule」>> 詳細ホームページ  
<http://www.canon.co.jp/cast/ncp/index-j.html>



© 吉岡佐和子「NUDY BRANCH」2002年

いまや新人写真家登竜門として認知  
の高い「写真新世紀展」。'91年よりキ  
ヤノンが新たな写真文化創造・発展の  
ために行っている新人写真家発掘・育成・  
支援を目的に展開している公募展ですが、  
これまでにオノデラユキ、佐内正史、蟻  
川実花、ヒロミックス等、国内外で活躍  
する多くの写真家を輩出しています。

本展では、今年開催された第26回公  
募から選出された6名の優秀賞受賞作  
品を紹介。ほかにも'02年度のグラン  
プリ受賞者・吉岡佐和子氏の個展「NUDY  
BRANCH」の併設など、フレッシュで力  
強い作品が展示されます。

CHECK: 01



<2003年度年間グランプリ公開審査&グランプリセレモニー>

優秀賞受賞6名の中から、年間グランプリ1名を選出する公開審査会が行われます。  
公開審査会では、出展者6名の作家による作品プレゼンテーションを初め、審査員  
の先生方の生の写真論に触れる交流の場となることでしょう。

■日程：11月22日(土) ■公開審査お問い合わせ：03-5482-3904

※10/27～11/14まで電話予約の上、先着150名の方がご覧になれます。(一般の方もご参加になれます)

左：公開審査の様子2002年

◎お問い合わせ：キヤノン株式会社 社会・文化支援室 写真新世紀/03-5482-3904

2F | 展示室  
Exhibition Gallery

2004年1月6日(火)～1月12日(月・祝)

第4回上野彦馬賞  
九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展

入場無料

■主催：毎日新聞社、九州産業大学  
■協賛：文化庁、日本写真芸術学会、東京都写真美術館

◎お問い合わせ先：毎日新聞福岡本部事業部 TEL 092-724-7203

3F | 展示室  
Exhibition Gallery

2003年12月2日(火)～12月21日(日)

友の会  
割引

三越カード  
割引

アトレカード  
割引

Italy: The One and Only  
イタリア、  
ザ・ワン・アンド・オンリー展

アリナーリ・コレクションにみるイタリア:1900～2000

schedule >> 詳細ホームページ  
<http://www.syabi.com/schedule.html>

■一般500(400)円 ■学生400(320)円  
■中高生・65歳以上200(160)円  
( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料  
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催: イタリア文化会館(東京)  
■共催: 財団法人東京都歴史文化財団/  
東京都写真美術館



©エルザ・ヘルテル「ローマのハイファクション」1951

ふたつとない国「イタリア」...  
独自性を発揮し続けるユニークな国。  
その1世紀間の歴史が、  
今ここに現れます。

写真の分野では世界最初の企業であるアリナーリ社は、100年前の時点ですでに半世紀分のイタリアの歴史を物語る写真資料を有し、映像を通して世界に美術史を紹介していました。今回の展覧会では、そんな数多くの映像からイタリア内外の著名な写真家の作品をチョイス。20世紀の大きな歴史区分に関連する映像を、作風や時代というテーマごとに22のセクションから構成し、対比させる形で展示しています。一世紀にわたるイタリアの長い歴史を、写真の前に立ち止まって、しばし覗いてみませんか?

◎お問い合わせ: イタリア文化会館/03-3264-6011

B1F | 展示室  
Exhibition Gallery

2003年10月25日(土)～11月24日(月・祝)

不肖宮嶋・報道写真展

■一般1,000(800)円 ■学生800(640)円  
■中高生・65歳以上500(400)円  
( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金  
■主催: 産経新聞社 ■共催: 東京都写真美術館



初期の活動からイラク戦争まで、氏の全活動と人間性に迫る約160点。

◎お問い合わせ:  
産経新聞社事業局  
TEL 03-3275-8904

2F | 展示室  
Exhibition Gallery

2004年1月17日(土)～2月22日(日)

友の会  
割引

三越カード  
割引

アトレカード  
割引

60億の肖像  
田沼武能写真展

schedule >> 詳細ホームページ  
<http://www.syabi.com/schedule.html>

■一般700(560)円 ■学生600(480)円  
■中高生・65歳以上500(400)円  
( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料  
※第3水曜日は65歳以上無料

■主催: 東京都写真美術館/朝日新聞社  
■協賛: キヤノン販売株式会社/凸版印刷  
富士写真フイルム株式会社



農村家族、バングラディッシュ1988

1929年、東京の下町で写真館を営む家に生まれた田沼武能は、東京写真工業専門学校(現・東京工芸大学)卒業後、サンニュースフォトス社に入社。実践的な報道写真の現場に飛び込みました。その後、「芸術新潮」の嘱託写真家、タイムライフ社の契約写真家など、フォトジャーナリズムの世界で華々しい活躍を展開。パリ郊外で出会った子どもたちの無限の可能性や生命の輝きに感動し、ライフワークとなる「子どもたち」の撮影に没頭します。それらの成果は「すばらしい子供たち」「遊べ子供たち」などの写真集として上梓されました。本展では、120を超える国と地域を取材し、現在も精力的に活動する田沼武能の50年に及ぶ軌跡をご紹介します。

田沼武能が写真に語りかける人間模様を通して、人間という不可思議で魅力的な世界をお楽しみください。

2F | 展示室  
Exhibition Gallery

2003年9月21日(日)～10月19日(日)



江戸開府400年記念事業  
江戸の写し絵  
幻影のメディア・テクノロジー

■一般500(400)円 ■学生400(320)円  
■中高生・65歳以上250(200)円  
( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金  
■主催: 東京都/東京都写真美術館  
■後援: 江戸開府400年記念事業推進協議会  
■企画協力: NHKエンタープライズ21  
■助成: 財団法人ポーラ美術振興財団

「江戸開府400年記念事業」の一環として、映像工夫館展「江戸の写し絵」を開催します。光と影から生まれた日本の「映像メディア」



日本・西洋の幻燈機/種板  
東京都写真美術館蔵

文化は、海外でも高く評価され、隆盛を見せています。本展は、さまざまな作品・資料を、江戸の日常生活から東京の都市生活にいたる私たちの映像体験(写し絵/影絵)として紹介し、その造形的な面白さ、文化としての広がりを感じる試みです。日本・海外の幻燈・影絵など歴史的映像装置、伊藤有孝、森野和馬、T.ヴァリツキーによるアニメーションや印象的なシルエットCG作品、minim++の映像メディア作品や体験型インスタレーションなどを通して、私たちの日常の中にある「幻影のメディア」を特集します。

# 士 日本のダンディズム

SAMURAI-DANDYISM in JAPAN

## 誇

江戸時代、士は「家」や「藩」に誇りをもち、先祖の功名を伝承するため、勇ましい姿を絵巻物などの日本画に残しました。幕末期になると、明日をも知れぬわが身を後世に残そうと、多くの写真作品が制作されました。坂本竜馬や近藤勇なども、立場こそ敵と味方ではありませんが、その思いは同じだったに違いありません。



鶴岡玉川・横井小楠像／横井小楠記念館蔵



原田直次郎・横井小楠像／勝芳邦氏蔵

### Episode (エピソード): 1

松平春嶽(まつだいら・しゅんがく)に賓師(ひんし)として迎えられた、幕末の思想家・横井小楠(よこい・しょうなん)。口を開いているのは、語りかけるポーズだと考えられる。春嶽が鶴岡玉川(うかい・ぎょくせん)に撮らせたもので、自分に対して語りかけている小楠像を残しておきたかったためと思われる。明治24年、この写真作品をもとに原田直次郎(はらだ・なおじろう)によって描かれた小楠像(油絵)でも、同じポーズで描かれている。

### 特別企画



### 「龍馬が江戸にやってくる」

■ 11月15日(土)

本展では上野彦馬「坂本龍馬像」オリジナル作品を特別出品します。本年11月15日は龍馬が32歳の若さで死去してから137回目の命日にあたります。高知県外では初展示となる本作。龍馬の魂に触れる貴重な機会となるでしょう。(11月15日以外はレプリカ展示)

上野彦馬「坂本龍馬像」／高知県立歴史民俗資料館蔵

### <主な作品リスト>

- ・「関ヶ原合戦図巻」名古屋博物館蔵
- ・鶴岡玉川「三浦秀真像」横浜市開港資料館蔵
- ・上野彦馬「坂本龍馬像」高知県立歴史民俗資料館蔵
- ・「松平忠礼を囲む写場」東京都写真美術館蔵
- ・川村清雄「勝海舟江戸開城図」東京都江戸東京博物館蔵

## 憧

合戦により武功を挙げ、武勇を誇る戦士でもある士は、多くの人々に憧れや敬愛のまなざしで見られていました。近世の物語に登場する士は、強くたくましく、それでいて和歌を詠むといった文武に優れた人物として多く描かれています。



小豆沢亮一「西郷隆盛像」／勝芳邦氏蔵

### Episode (エピソード): 2

源為朝(ためとも)の活躍を描く大冒険奇譚。為朝は実存した人物だが、本作では超人として描かれている。何人かかっても引けないほどの立派な弓を操る為朝は、貴賤にかかわらず広く愛されたヒーローであった。この物語は歌舞伎の戯作となり、浮世絵でも描かれる。



文: 曲亭馬琴 / 画: 葛飾北斎「橋廻り張月」

### Episode (エピソード): 3

大きな瞳、太い眉、薄い唇、四角い輪郭。彼の像は死後に描かれたものが定着した。本作の技法は(アルビュメン・プリント)に一点一点油彩で着色する写真油絵技法の応用で、これは退色を防ぐだけでなく重厚な画面となる。

### <主な作品リスト>

- ・「一ノ谷・宇治川合戦図屏風」埼玉県立博物館蔵
- ・「八鶴合戦図屏風」埼玉県立博物館蔵
- ・小豆沢亮一「西郷隆盛像」勝芳邦氏蔵
- ・歌川国芳「誠忠義士肖像」東京都江戸東京博物館蔵

## 望

ペリー来航から幕末、明治に至る時代は、「鎖国」制度が解放され、その視線は海外に向けられます。1854年(安政元)、ペリーに同行し来航した写真師エリファレット・ブラウン jr. は、初めて士を写真におさめ、幕末日本を活写しました。



「勝海舟像」／勝芳邦氏蔵

### Episode (エピソード): 4

第二回遣欧使節団でハワイを訪れた益田庸之助。鏡越しの瞳、馬乗袴、二本差、膝に手を置き、背筋を伸ばす姿が凛々しい。ダグロンは丁髷に非常に興味をもったのだろう。巧みに一つの画面へ正面と横顔を配置した。遣欧使節の多くがモンタージュのように取り分けられた別々の写真を残している。



ダグロン「益田庸之助像」

### Episode (エピソード): 5

勝海舟は軍艦・威臨(かんりん)艦長として日本船籍・乗組員による初の洋行を果たした。このアンプロタイプは到着地サンフランシスコで制作された。同地で遣米使節の1人が制作しているものと比べてサイズが大きく、着色も華やかで、海舟の喜びが顕れているように感じられる。

### <主な作品リスト>

- ・「勝海舟像」勝芳邦氏蔵
- ・A・ベアト「スフィンクスの前の遣欧使節一行(第二回遣欧使節)」三宅立雄氏蔵
- ・ナダール「第一回遣欧使節」勝芳邦氏蔵
- ・P・ボト「田中光儀像」東京都写真美術館寄託
- ・ル・グレイ「田中光儀」三宅立雄氏蔵
- ・P・ボト「遣欧使節団」川崎市市民ミュージアム蔵
- ・伝五姓田芳柳「外国人和装像」横浜美術館蔵

2F | 展示室  
Exhibition Gallery

2003年10月12日(日)～11月24日(月・祝)

友の会 無料  
三越カード 割引  
アトレカード 割引

江戸開府400年記念事業  
写真と絵画の展覧会  
江戸開府400年東京  
さむらい 日本のダンディズム  
SAMURAI-DANDYISM in JAPAN

schedule >>> 詳細ホームページ  
http://www.syabi.com/schedule.html

- 一般500(400)円 ■学生会400(320)円
- 中高生・65歳以上250(200)円
- ( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金
- ※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
- ※第3水曜日は65歳以上無料、東京都写真美術館友の会会員無料
- 主催：東京都/東京都写真美術館/読売新聞東京本社/美術館連絡協議会
- 協賛：花王株式会社/財団法人地域創造/富士フィルム株式会社
- 後援：江戸開府400年事業推進協議会



小堀頼音「武士(もののふ)」1897年/  
東京藝術大学大学美術館蔵

江戸時代。合戦図、肖像画、錦絵など手わざによる日本絵画のなかで、士(さむらい)は図像化され、その姿を紡いできました。しかし、ひとつの事件が、その後の日本に大きな財産を残したのです。それは1854年(安政元)、米国海軍提督ペリーに同行した写真師エリファレット・ブラウンjr.が、士を写真におさめ、幕末日本を活写するという出来事でした。

本展では、幕末・明治期における初期写真のオリジナルピースを中心に、江戸初期からの日本絵画、錦絵、石版画、油絵など明治30年代までのさまざまなジャンルにおける士の図像を検証。彼らを表現した人々の美意識をつまびらかにしようと試みます。写真・絵画・版画において士のダンディズムはどのように捉えられたのでしょうか。伝承されていく《誇》、偶像や武勇伝への《憧》、外洋へ、そして外洋から《望》む士の姿…。これら3つの角度から士を見わたし、表現された男たちの姿に迫ります。400年の歴史が誇りにしえのダンディズムを是非ともご堪能下さい!

Work Shop  
<士～さむらい～展関連 幕末写真ワークショップ>  
幕末・日本に写真が渡来した頃の技法を体験します  
■日程:A.10月25日(土)・26日(日) / B.11月15日(土)・16日(日)  
Work Shop >>> ※詳細はhttp://www.syabi.com/workshop.html

<幕末期における絵画と写真の交差>  
■日程：11月9日(日)14:00～16:00 ■1階ホールにて  
※共に展覧会鑑賞券をお持ちの方ならどなたでも参加いただけます

<フロアーレクチャー>  
■毎月第2・4全曜日の午後2時より担当学芸員による展示解説  
※共に展覧会鑑賞券をお持ちの方ならどなたでも参加いただけます

B1F | 展示室  
Exhibition Gallery

2003年12月4日(木)～2004年2月8日(日)

年始 特別開館  
1月2日より開館  
友の会 無料  
三越カード 割引  
アトレカード 割引

エックス  
レベルX  
ファミコン生誕20周年  
テレビゲームの展覧会

- 一般250(200)円 ■学生会200(160)円
- 中高生・65歳以上120(100)円

- 主催：東京都/東京都写真美術館/読売新聞東京本社/美術館連絡協議会 ■共催：TBS
- 後援：社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会/社団法人コンピュータエンターテインメント協会/社団法人日本野球機構(NPB)/ゲームアーカイブ・プロジェクト(GAP)/国際ゲーム開発者協会東京支部(IGDA東京)/テレビゲーム・ミュージアム
- 協賛：花王株式会社 ■特別協力：任天堂株式会社
- 協力：(有)アーマープロジェクト/(株)ゲームフリーク/コナミ(株)/(株)スクウェア・エニックス/(株)セガ/(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント/(株)チュンソフト/(株)東京糸井重里事務所/(株)ナムコ/(株)ハドソン/(株)ビービーエス/(株)ポケモン/マイクロソフト(株)

( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料  
※第3水曜日は65歳以上無料、東京都写真美術館友の会会員無料



Home Page  
人気投票  
ファミコン生誕20周年記念  
全ソフト約1200タイトル人気投票開催中!!  
1983年の発売から20年、さまざまなゲームソフトが生み出されました。その中からあなたを夢中にさせたお気に入りのソフトを選んでください。あなたの1票がファミコンソフト人気No.1を決定します!  
Game >>>  
詳細ホームページ <http://www.syabi.com/level-x/index.html>

Work Shop  
ファミコン20周年 テレビゲームの展覧会  
「レベルX(エックス)」関連ワークショップ開催  
※詳細は決定次第HPにてお知らせします。  
http://www.syabi.com/workshop.html

2003年。今年でファミコンは生誕20周年を迎え、テレビゲームの歴史を語る上で記念すべき年となりました。しかし、「テレビゲーム成人の年」となった一方で、2003年9月、ファミコンは製造中止となり、その歴史に幕を閉じることとなりました。今や、完全に一時の流行ではなくなったテレビゲーム。日本のゲーム愛好者は3,372万人、全人口の3人に1人というデータもあります('99 CESA ゲーム白書より)。本展覧会はテレビゲームの歴史のはじまりであるファミコン(ファミリーコンピュータ)を中心に、様々なテレビゲームやゲームクリエイターの活動を紹介。また、テレビゲームの著作権についても探求します。写真と映像の専門美術館としてテレビゲームを「文化」として位置づけ、その社会的意義についても考察します。多くの人々に懐かしい思い出として記憶されているファミコン。そして、これからも進化していくテレビゲーム。現代日本の小史を語る意義ある展覧会となることでしょう。

# level × ゲームクリエイター・クロニクル



ハリウッド映画になり、ポール・マッカートニーのMTVにも登場する『スーパーマリオ』の宮本茂。全世界で支持されている『ポケットモンスター』の田尻智&杉森建。ゲームの世界に“センスと世界観”を持ち込んだ糸井重里。ドラクエの堀井雄二と中村光一。マリオのライバル『ソニック』の中裕司。『メタルギア』シリーズの小島秀夫。彼らが、自身が始めてつくったゲームをプレイしながらのインタビューに答えます。インタビューとシンクロしているゲーム画面を編集し、ひとつの作品に仕上げ、映像展示の新たな手法を提示します。

## Interview....

『スーパーマリオ』の作者、宮本茂氏と当館福原義春館長の対談を当館ホームページにて動画配信します。永遠の名作『スーパーマリオ』でコミュニケーション。ゲームと美術館の未来とは... ストリーミング配信中!

**Streaming** >> <http://www.syabi.com>

▼宮本茂氏/東京都写真美術館館長 福原義春



宮本茂氏  
と  
福原義春 館長  
スペシャル対談!

**館長:** こういった公立美術館にいいよゲームが登場してきたことについてはどう思われていますか? 自然な流れですか?  
**宮本氏:** 照れくさいですね。何かこういったところで扱われると。お茶の間で遊ぶ道具ですからね。どちらかというと商品を見てもらうものですから、作家が表に出ていくものではないので。すごく照れくさいです。作家としてそれなりに見えないといかないかな。と。余計なところに気を遣ったり。  
**館長:** ゲームとは20世紀最後に出てきた生活文化だと思えますし、これからまだまだ洗練されていくものと思います。というのは、お客である子どもたちの学習進度が速いので、進化せざるを得ないところがあると思うのです。

(2003年8月8日・当館アトリエにて)

▶ 展覧会詳細は10ページ eyes-11

# level × ゲームテクノロジー・ヒストリー ～野球ゲームにみるゲーム映像表現の進化～

1983年にファミコンが発売されてから20年。数多くのゲーム機が開発されてきました。このパートでは、ファミコン発売を一区切りとし、現在までに発売されている主要ゲーム機を展示します。特に、周辺機器も含むファミコン関連のものは、任天堂株式会社の全面協力により全展示します。ゲーム機のスペックを顕著に現しながらも、ファミコンの『ベースボール』を基本とした構成が脈々と受け継がれている野球ゲーム。その野球ゲームの代表的なものをプレイ展示することにより、ゲーム機の進化と、映像表現の進化の本質を探ります。

# level × 8bit・エンサイクロペディア ～ファミコン全展示～



現在までに発売されているファミコンソフトは全部で約1200タイトル。これら全てのファミコンソフトを、任天堂株式会社の全面協力

により、展示します。一部はプレイもできます。そして必見は外箱。目で、プレイで、ファミコンを再体験できます。

# level × 最新ソフトの展示

現在の主流のゲーム機である、ゲームキューブ(任天堂)・ゲームボーイアドバンス(任天堂)・プレイステーション2(ソニー・コンピュータエンタテインメント)・Xbox(マイクロソフト)の最新ソフトを展示予定。現在のテクノロジーの最先端を体験します。

## ファミコン20周年記念 テレビゲームの展覧会 レベルX(エックス) サイトスタート!

\*ファミコンソフト人気投票  
\*ストリーミング配信 ほか

今すぐ  
アクセス

<http://www.syabi.com/level-x/index.html>

**★大画面で楽しむオールドゲーム**  
家庭で遊ぶことができる家庭用ゲームソフト。昔ながらのファミコンゲームを、大画面で大装束に遊んでみませんか。

**★リスト・ファミコン**  
2003年9月に製造中止となるファミコン。最終日のファミコン工場のラインの映像を上映し、同時に、この世に最後に生まれ出たファミコン(最終ロット番号)を展示します。

**★ポケモン登場**  
本展覧会場内でしか入手できないポケモン記念スタンプが登場します。お楽しみに!

**★ファミコン時代フライヤー**  
20年の歴史を紡いだファミコンの歴史を、任天堂秘蔵のフライヤーで振り返ります。ファミコン誕生への足がかりとなったゲームウオッチ時代のフライヤーも含む86枚を展示予定です。

## Column 写真でトーク。

03

### 『写真と映画』

私が留学したバリの映画大学イデックの主任教授は、世界映画史家のジョルジュ・サドール先生だった。先生は写真家、アンリ・カルチエ・ブレッソン氏と親しかった。私も先生のお宅でお目にかかったことがある。

意味と、その事柄を適切に表現するフィルム of 厳密な構成を、同時に認識すること。これはブレッソン氏の有名な言葉である。映画は19世紀の末に日本に入り、活動写真と呼ばれた。動く写真というように、写真は映画にとって父であり母である。したがって、イデックでもカメラを回す前に、まず写真の勉強をさせられた。

劇映画は瞬間の勝負ではない。しかし自分なりの個性ある構図のなかに秘める精神は、ブレッソン氏の指摘通りであろう。すばらしい写真を見ることは私の楽しみだが、同時に、すぐれた映画を鑑別するよい刺激にもなっている。

岩波ホール総支配人  
東京国立近代美術館フィルムセンター名誉館長 高野悦子

東京都写真美術館で観る映画シリーズ

当館では「写真美術館で観る映画シリーズ」と題し、選りすぐりの作品を上映しています。美しい映像と心にしみる感動をお楽しみください。

シリーズ  
Vol.6

「延安の娘」

- 上映スケジュール/11月11日(火)~12月11日(木)
- 休映日/月曜日(祝日の場合は翌日)
- 上映時間/10:30/13:00/15:30/18:00
- 一般1,800円 ■学生1,500円
- 中学生以下・60歳以上1,000円



■2001年/日本/120分 ■監督:池谷薫 ■2002年カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀ドキュメンタリー映画賞受賞  
◎お問い合わせ:蓮ユニバース/03-5478-6077

黄土高原が果てなく続く中国革命の聖地・延安。貧しい農村の娘・海霞は生まれてすぐに自分を棄てた実の親を捜していた。彼女の両親は文化大革命の時代、この地に下放させられたかつての紅衛兵だった…。これまで誰も語ろうとしなかった文革の悲劇を、天安門事件以降、中国での撮影・取材を積極的に展開している池谷薫監督が追うドキュメンタリー映画。数多くの国際映画祭で絶賛され、第37回カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀ドキュメンタリー映画賞受賞などに輝いた話題作。

シネマ  
ウィーク

Tokyo International Film Festival  
東京国際映画祭

<http://www.tiff-jp.net/>

オーストラリア・フィルム・フォーカス

■上映スケジュール/11月1日(土)~11月3日(月・祝)



知られざる映画大國、オーストラリア。ハリウッドとは一味違った人間味溢れる作品作りが特徴です。ここ数年、世界中で大きな注目を集めながらも日本で紹介されることのなかった秘蔵の作品群を、東京国際映画祭の協賛企画として一挙公開いたします。

◎お問い合わせ:03-3479-1240

Japanimation (ジャパニメーション) 特集  
~Japanimationの誕生から未来へ~

■上映スケジュール/11月5日(水)~11月8日(土)  
※11月8日(土)は「スタジオジブリ」デー

◎お問い合わせ:角川エージェンシー/03-3238-6465

シリーズ  
Vol.5

戦場のフォトグラファー

ジェームズ・ナクトウェイの世界

- 上映スケジュール/9月6日(土)~10月31日(金)
- 休映日/月曜日(祝日の場合は翌日)
- 上映時間/10:20/12:30/14:40/16:50/19:00
- 一般1,800円/学生1,500円/中学生以下・60歳以上1,000円



◀インタビューに答える  
ナクトウェイ氏

ストリーミング配信中!  
Movie >>  
<http://www.syabi.com>

孤高のフォト・ジャーナリスト、ジェームズ・ナクトウェイ。最も勇敢で最高の戦争写真家と評された彼は、真実を目の前にした時に、いったい何を考えていたのでしょうか。ジェームズがどんな状況下でシャッターを切っていたのか、この世の地獄を見てきた男の胸に去来するものは何だったのか…。全ての答えはこの映画の中にあります。

■2001年/スイス/96分 ■監督・制作・編集:クリスチャン・フレイ  
■写真・カメラ撮影:ジェームズ・ナクトウェイ  
◎お問い合わせ:詳細:メディア・スーツ/03-5428-1079



◎お問い合わせ:  
ミュージアムショップ/  
直通03-3280-3279

写真と映像に関する書籍やグッズを描いたミュージアムショップが1階に設けられています。当館で開催された展覧会図録や写真集などの書籍、国内外の美術館で制作されたグッズ、さらには当館のオリジナル・ポストカードやステーションナリーなども販売しています。

Museum Shop Pickup

トイカメラに新しい仲間が登場しました。その名もカラーズブラッシュカメラ。フラッシュにカラーフィルターが入っており、フィルターを差し替えることで、12色も変化がつけられます。使い次第でいろいろと面白い効果が出せるこのカメラ、早くも大人気です。



カラーズブラッシュカメラ  
¥8,800(税別)



Museum Shop Pickup

2004年版 ダイアリー、カレンダー 毎年好評いただいているダイアリー、カレンダーが店頭に揃いました。ダイアリーは使い易く便利なものを、カレンダーは対照的にグラフィカルなものを扱っています。特に今年のカレンダーは力作揃い。紙質、印刷にもこだわっています。部屋の素敵なインテリアとなること間違いなしです。

新商品や入荷情報などはホームページでもご紹介しています  
<http://www.syabi.com/shop/shop.htm>

School Program

東京都写真美術館スクールプログラム/授業に役立つ活用プログラム

東京都写真美術館では、児童・生徒たちが写真や映像といったメディアとの出会いを通して、豊かな体験学習ができるように、小学校・中学校・高等学校の授業とリンクした「スクールプログラム」を数多く用意しております。当館が所蔵する約18,000点の写真作品、映像資料、写真機材、約5万冊の写真・映像に関する図書といった、当館ならではの豊富なコレクションを活用して、それぞれの学校の要望に合わせたユニークな作品鑑賞や体験学習のプログラムを組み立てることができます。



※プログラム詳細はホームページでもご紹介しています  
<http://www.syabi.com/school/school.html>

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に維持会員としてご入会いただきました。

- 特別維持会員 (平成15年9月現在・50音順)
- |          |          |
|----------|----------|
| キャノン株式会社 | 株式会社資生堂  |
| 東京電力株式会社 | 凸版印刷株式会社 |
| 学校法人文化学園 | 株式会社リコー  |

- 維持会員
- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 朝日新聞社          | アサヒビール株式会社       |
| 朝日放送株式会社       | 味の素株式会社          |
| 株式会社イトーヨーカ堂    | 株式会社NTTドコモ       |
| 株式会社大林組        | オリンパス光学工業株式会社    |
| 株式会社オンワード樺山    | カシオ計算機株式会社       |
| 鹿島建設株式会社       | 株式会社角川書店         |
| カトレック株式会社      | カネボウ株式会社         |
| カルピス株式会社       | キッコーマン株式会社       |
| キャノン販売株式会社     | 協和発酵工業株式会社       |
| キリンビール株式会社     | 株式会社講談社          |
| 株式会社コーセー       | コダック株式会社         |
| 株式会社ザ・アール      | サッポロビール株式会社      |
| サントリー株式会社      | ジェイティビー印刷株式会社    |
| 清水建設株式会社       | 株式会社写真弘社         |
| 株式会社集英社        | 株式会社主婦と生活社       |
| 株式会社小学館        | 松竹株式会社           |
| セイコー株式会社       | セイコーエプソン株式会社     |
| セントラル警備保障株式会社  | ソニー株式会社          |
| 第一建築サービス株式会社   | 大成建設株式会社         |
| 大日本印刷株式会社      | 中外製薬株式会社         |
| 株式会社竹中工務店      | 株式会社電通           |
| 東亜建設工業株式会社     | 東海旅客鉄道株式会社       |
| 東京ガス株式会社       | 東京急行電鉄株式会社       |
| 東京工芸大学         | 東京総合写真専門学校       |
| 株式会社東京ドーム      | 株式会社東芝           |
| 株式会社東北新社       | 株式会社徳間書店         |
| 戸田建設株式会社       | トヨタ自動車株式会社       |
| 株式会社ニコン        | 日産自動車株式会社        |
| 日本アイ・ビー・エム株式会社 | 社団法人日本広告写真家協会    |
| 日本写真芸術専門学校     | 日本写真作家協会         |
| 日本信販株式会社       | 日本大学芸術学部         |
| 日本テレビ放送網株式会社   | 日本ビルサービス株式会社     |
| 日本放送協会         | 日本油脂株式会社         |
| 株式会社博報堂        | びあ株式会社           |
| 東日本旅客鉄道株式会社    | 株式会社ファーストリテイリング  |
| 富士重工業株式会社(スバル) | 富士ゼロックス株式会社      |
| 株式会社フジテレビジョン   | 株式会社ブリヂストン       |
| 株式会社フレイムマン     | 株式会社ベネッセコーポレーション |
| ペンタックス株式会社     | 株式会社ホテルオークラ      |
| 株式会社堀内カラー      | 本田技研工業株式会社       |
| 毎日新聞社          | 株式会社マガジンハウス      |
| 森ビル株式会社        | 読売新聞社            |
| ライオン株式会社       | 株式会社ワコール         |

詳しくは <http://www.syabi.com/Membership.html> まで